

- ※ 本書面は申立書を補うものです。申立書とともに提出してください。
- ※ 本書面は相手方から申請があれば、見せたり、コピーを取らせることがあります。
- ※ 本書面は、被相続人ごとに、申立人1人につき1通ずつお書き下さい。

記載例

事 情 説 明 書

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

氏名 家 裁 太 郎 ④

事件番号 令和 年 (家) 第 号

1 相続人について

相続人の範囲（相続人は誰か）について争いがありますか。 はい いいえ

※ 「はい」の場合、争われている方の氏名と理由を記載して下さい。

2 遺産の範囲について

遺産は、遺産目録記載のとおりである。

遺産目録のほかにも、遺産がある可能性がある。

（遺産を管理している者： 相手方家裁二郎 ）

遺産目録中に、被相続人の名義ではないものがある。

（遺産目録の番号： ）

3 遺言書について

遺言書はありますか。 ある ない 分からない

※ 「ある」の場合は、以下の質問にお答え下さい。

(1) 遺言書の種類

公正証書遺言 自筆証書遺言（検認未了）

自筆証書遺言検認済： 家庭裁判所 支部 平成・令和 年 (家) 第 号

(2) 遺言書を所持している人

申立人（ ） 相手方（ ） その他（ ）

(3) 遺言書の内容はわかりますか。 はい いいえ

※ 「はい」の場合、遺言書に記載されていない遺産はありますか。

はい いいえ

(4) 遺言書の効力に争いが生じる可能性はありそうですか。 はい いいえ

- ※ 本書面は申立書を補うものです。申立書とともに提出してください。
 ※ 本書面は相手方から申請があれば、見せたり、コピーを取らせることがあります。
 ※ 本書面は、被相続人ごとに、申立人1人につき1通ずつお書き下さい。

※ 「はい」の場合、こういった理由で遺言書の効力が争われそうですか。

※なお、遺言書をお持ちの方は、写しを提出してください。

4 事前の遺産分割協議について

(1) 遺産分割協議はしましたか。

はい → (2) へ いいえ → (協議をしていない具体的な理由：
 _____)

(2) 遺産分割協議はまとまりましたか。

はい → (3) へ

いいえ → (遺産分割協議がまとまらなかった理由を記載して下さい。)

相続人の範囲 遺産の範囲 分割方法 その他 (特別受益)

遺産分割協議がまとまらなかった具体的な理由

申立人はA 2 及びA 3 の不動産の取得を希望し、その評価額について固定資産税評価額とすることを主張したが、相手方家裁二郎は時価額がそれ以上の金額になることを主張した。また、相手方家裁二郎は被相続人から住宅建築資金の贈与を受けていないと主張し、特別受益の有無が争いになった。

(3) 遺産分割協議書は作成しましたか。

はい いいえ

5 事前の遺産の一部分割について

(1) この申立てまでに、被相続人の遺産の一部のみを対象にして、分割をしたことがありますか。

はい → (2) へ いいえ

(2) 分割の際にどのような書面を作りましたか。

裁判所の審判書又は調停調書

(家庭裁判所 平成・令和 年 (家) 第 号)

遺産分割協議書

その他 ()

※なお、(2) にチェックを入れた方は該当する書面の写しを提出してください。

- ※ 本書面は申立書を補うものです。申立書とともに提出してください。
- ※ 本書面は相手方から申請があれば、見せたり、コピーを取らせることがあります。
- ※ 本書面は、被相続人ごとに、申立人1人につき1通ずつお書き下さい。

6 事前の預貯金債権の行使について

(1) この申立てまでに、民法909条の2に基づいて預貯金債権を単独で行使した相続人はいますか。

- はい（当該債権を行使した相続人の氏名 申立人） → (2) へ
- いいえ
- 不明

(2) 権利行使の内容が分かる書面がありますか。

- はい（ 金融機関発行の証明書等（甲第19号証） その他（ ））
- いいえ

7 遺産の使用，管理状況について

(1) 遺産目録A記載の不動産は現在誰がどのように使用（又は居住）していますか。

A 1は貸駐車場として使用し、相手方家裁二郎が管理。A 2及びA 3は申立人が居住。A 4及びA 5は空き家で放置。A 6の賃料は申立人が支払っている。

(2) 遺産目録記載の上記（1）以外の遺産は、誰がどのように管理していますか。

C 2現金は申立人が保管。C 3金及びG 1の金銭消費貸借契約書は相手方家裁二郎が保管。その他は、各取扱金融機関が保管。

8 取得希望について

あなたがこの遺産分割において、どのような形での遺産取得を希望するのかを記載してください。

(例) 不動産の取得を希望する。

(例) 法定相続分に応じて代償金の支払を受けることを希望する。

A 2及びA 3の不動産の取得を希望する。

A 2及びA 3以外の遺産についての取得希望はないが、法定相続分に応じて代償金の支払を受けることを希望する。

- ※ 本書面は申立書を補うものです。申立書とともに提出してください。
- ※ 本書面は相手方から申請があれば、見せたり、コピーを取らせることがあります。
- ※ 本書面は、被相続人ごとに、申立人1人につき1通ずつお書き下さい。

9 寄与分について※

寄与を主張するのであれば、その内容を記入してください。

期間	内容
平成10年1月～平成23年12月	<input checked="" type="checkbox"/> 家業従事 <input type="checkbox"/> 金銭等出資 <input type="checkbox"/> 療養看護 <input type="checkbox"/> 扶養 <input type="checkbox"/> 財産管理 <input type="checkbox"/>
平成24年1月～令和元年7月	<input type="checkbox"/> 家業従事 <input type="checkbox"/> 金銭等出資 <input checked="" type="checkbox"/> 療養看護 <input type="checkbox"/> 扶養 <input type="checkbox"/> 財産管理 <input type="checkbox"/>
～	<input type="checkbox"/> 家業従事 <input type="checkbox"/> 金銭等出資 <input type="checkbox"/> 療養看護 <input type="checkbox"/> 扶養 <input type="checkbox"/> 財産管理 <input type="checkbox"/>

※被相続人の財産の維持または増加に対する親族間の相互扶助義務を超える特別な寄与に限られます（民法904条の2）。

10 相手方について

(1) 相手方は本件申立てをご存知ですか。

全員知っている。

全員知らない。

相手方 は知っている。

(2) 相手方に代理人弁護士は選任されていますか。または、その見込みはありますか。

不明

 弁護士（ 弁護士会）が選任されている（選任見込）。

TEL

FAX

(3) 相手方の調停期日への出席は見込まれますか。出席困難な事由（病気等）はないですか。

不明

調停には出席すると思われる。

調停には出席しないと思われる。

(理由)

- ※ 本書面は申立書を補うものです。申立書とともに提出してください。
- ※ 本書面は相手方から申請があれば、見せたり、コピーを取らせることがあります。
- ※ 本書面は、被相続人ごとに、申立人1人につき1通ずつお書き下さい。

記載例

1 1 審判申立ての場合（調停申立ての場合は記載する必要はありません。）

本件を調停手続に付することについて支障がありますか。

支障はない。

支障がある。

(理由)

1 2 その他

その他参考になることがあれば記載してください。